

ムサビの教員が選ぶ

美大生におすすめの本

Recommended books for art students.

芸術文化学科

杉浦幸子教授

『ザ・ゴッドファーザー』

ハーラン・リーボ 著ほか,
ソニー・マガジnz, 2001



皆さんには、繰り返し何回も観たい映画、ありませんか。私にとってのそれは、フランシス・フォード・ Coppolaが監督した映画「ゴッドファーザー」3部作です。原作は、イタリア移民マリオ・プーゾの小説『ゴッドファーザー』。父親が生み出したマフィアファミリーの存続のために、自分を殺して生き、そして死ぬ主人公を通して、人間の逃れられない業と苦悩を描き出しています。

この本は、映画からは見えない裏側を露わにした、謂わばドキュメンタリー。映画化に反対したマフィアとのやり取りや、キャスティングのせめぎあい、セットやロケなどでかさむ資金繰りなど、たった一本の映画制作に翻弄される人たちの様子を、監督、プロデューサー、俳優はもちろん、スタッフにもインタビューをし、配給元のパラマウント社の記録室に眠っていた膨大な資料をひっくり返しながらかき出しました。

そして、痺れるのはそのカバー。黒い背景の中、肘掛け椅子に座る主人公マイケル・コルリオーネの前に、日系二世のグラフィックデザイナー、ニール・フジタがデザインした象徴的なロゴを金押ししています。映画「ゴッドファーザー」の表と裏、両面を感じさせる、ストレートフォワードなデザインをぜひ手に取って、見てください。

ムサビの教員が選ぶ

美大生におすすめの本

Recommended books for art students.

芸術文化学科

杉浦幸子教授

『基礎からわかる論文の書き方

(講談社現代新書 ; 2660)』

小熊英二 著, 講談社, 2022



芸術文化学科以外のムサビの皆さん、芸文では「論文」「作品制作」「プロジェクト」という3つのタイプから卒業研究を選べること、そして、どのタイプを選んでも、自分の研究について文章で説明をすることが求められること、ご存知でしたか?その中でも「論文」は、授業で書くレポートとは違い3~4万字、自ら問いを立て、先行研究を検討し、時に調査やインタビューなども行い、問いを検証することが求められるため、4年間レポートなど書いてきていても、こと論文となると書き方に迷う学生が多いです。

教員である私もどのようにアドバイスしたら良いか迷うこともあり、レポートや論文の書き方的な本を両手に余るほど読んできました。が、先般本書を読み始め、芸文生はもちろんのこと、ムサビの皆さんにぜひお勧めしたいと思いました。小熊先生が論文指導を行う中で編み出した執筆術を学生との対話形式で伝授してくださるので、あたかも先生と話をしながら論文執筆というプロジェクトを進めている、そんな気持ちになれます。

どの学科にも、論文を書いてみたい人、いると思います。分厚い新書ですが、読みやすいので、ぜひ一読を。そしてぜひあなたのテーマの論文にトライしてみてください。